

(芸術)科(美術)シラバス		2 単位	普通科 第3学年	B群選択者
年間の到達目標	<p>1. 美術の創造活動をととして美的体験を豊かにし美的感覚を洗練します。</p> <p>2. 自己表現を目標とし、自分のよさを発見し、美を感じ取る感性を深め、表現する楽しさや完成の喜びを味わいます。</p> <p>3. 表現及び鑑賞における幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てます。</p>			
教科書・副教材等	美術3 (光村図書出版)			
学期	月	学習内容	学習のねらい	
4	5	1. オリエンテーション (1) 美術3について (2) 授業についての心構え	教科書や資料を使い、美術の学習内容に関心を持たせ、目的意識を明確にし、学習の意義や内容、評価について理解します。	
		2. 木炭デッサン	基本的な形の捉え方や、明暗による立体の表現方法を確認し、量感を感じ取ります。	
中間考査範囲				
6	7	3. 卒業制作 油彩・水彩・デザインからの選択制 (1) 計画をたてる	1. 2年で学んできた内容をさらに深め、表現するために各自で卒業制作のテーマを決め、計画をたてレポートにして提出します。	
		(2) エスキース・準備  (3) 地塗り・下描き	各自の美的感覚や発想力を活かし、エスキース・アイデアスケッチを重ね、必要な用具等を準備します。  本制作を活かすための地塗りを工夫します。 構図やレイアウトを工夫して下描きを完成させます。	
期末考査範囲				
〔備考〕 【第1学期の評価方法】 普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品及びレポートなどを見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品及びレポート70%の配分で行います。				
9	10	(4) 制作	油彩画・水彩画・デザイン画等それぞれの選択した材料の特質を理解し、表現方法を工夫しながら卒業制作を進めていきます。	
			制作過程における美的な感動や、技法の発見など興味を持った事を積極的に作品に取り入れながら楽しんで制作していきます。	
中間考査範囲				
11	12		表現したい内容が適切な方法で表現されているかを確認しながら完成に向けて制作を進めていきます。	
		(5) 仕上げ	全体の調子を整え、完成させる。	
期末考査範囲				
〔備考〕 【第2学期の評価方法】 普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品を見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品70%の配分で行います。				
1		1. 1年間のまとめ	卒業制作をととして感じたこと、また工夫した点等をまとめと反省にしてレポートを提出します。 卒業制作展の展示のための準備。	
学年末考査範囲				
〔備考〕 【第3学期の評価方法】 普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品及びレポートなどを見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品及びレポート70%の配分で行います。 【年間の評価方法】 下記の4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				
評価の観点	内 容		評 価 方 法	
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的、主体的な態度で学習活動に取り組むことができるか。		・学習活動への参加態度 ・提出作品	
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、美術の良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしているか。		・授業の取り組み ・提出作品 ・提出プリント	
創造的な表現の技能	材料や用具を適切及び効果的に扱い、創造的な表現をするために、必要な技能を身につけているか。		・授業の取り組み ・提出作品	
鑑賞の能力	美術作品を様々な観点から理解し、その良さや美しさを楽しむことができるか。		・鑑賞の態度 ・提出プリント	
〔担当者からのメッセージ〕 人間にとって、表現や創造をすることはとても大切なことです。美術の授業や作品制作を通して、豊かな発想力を育み、表現することの喜びや大切さを感じて欲しいと思います。 また、よい作品は、意欲的、主体的な態度から生まれるものです。授業への遅刻や忘れ物の無いようにするとともに、授業に積極的に参加して下さい。提出物は期限を厳守して下さい。				